



グリーンインフラの視点を持ち、持続可能なまちづくりを 丸橋 ユキ（光と風）



録画配信の
2次元コード

◆グリーンインフラとしての緑の保全を

狭山の雑木林等の価値を知ってもらい長く残していくために、憩いの場として活用されたいが、現状は。

都市建設部長 埼玉県が指定する緑のトラスト保全地のほか、ふれあい緑地5ヵ所、市民緑地1ヵ所、特別緑地保全地区1ヵ所を管理している。これらは市民の憩いの場として散策、植物鑑賞、自然環境への触れ合いの場、保全活動の場として利用されている。

◆雨水を貯留浸透させる植栽空間「雨庭」

グリーンインフラとして、あるいはグリーンインフラを市民に伝えるシンボルの存在として、雨庭の導入を検討してはどうか。

都市建設部長 歩道が設置されている道路では可能な限り透水性の舗装材や浸透ます等を採用している。このほか、民間の宅地開発をはじめ、公共施設内にも浸透施設の設置や緑化の指導などを行っているため、雨庭については直ちに導入の考えはない。

◆庁内横断的な取り組みのために

国は、地方自治体に対してグリーンインフラの導入を推進しており、グリーンインフラガイドラインを策定する自治体も出てきている。狭山市でも策定をしてはどうか。

市長 現在策定中の第5次狭山市総合計画の各施策の中でグリーンインフラの概念は実現できると考えている。



水野の森にて(1月撮影)

その他のテーマ ▶資源ごみの集団回収について

これまでの活動

基地対策特別委員会

狭山市は、基地が所在する自治体として基地対策特別委員会を設置しています。

市民の安全・安心な暮らしを守るため、そして、生活環境の改善がなされるよう、各団体へ要望活動を行っています。

今年度はこれまでに、2件の要望活動を行いました。

航空自衛隊入間基地に関わる市民の生活環境の改善について

8月1日に、防衛省北関東防衛局と航空自衛隊入間基地に対して、議長と基地対策特別委員が要望書を提出しました。市民の安心・安全、生活環境の整備と改善がなされるよう、安全飛行や騒音対策、基地周辺の環境改善などを要望しました。

入間航空祭における航空機の安全飛行の徹底について

10月25日に、航空自衛隊入間基地に対して、議長と基地対策特別委員会正副委員長が要望書を提出しました。当日の安全飛行徹底や来場者等の安全確保と渋滞緩和対策を講じることなどを要望しました。



佐藤入間基地司令(右)に要望書を渡す
(右から)太田議長、町田委員長、関根副委員長



一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。12月定例会では、17名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。

戦後80年を迎える来年に向けて

橋本 亜矢（日本共産党）



録画配信の
2次元コード

戦後80年の節目の2025年、中学生の広島市平和式典への派遣を復活する考えは。

企画財政部長 8月の酷暑の中の1泊2日の厳しいスケジュールにより体調を崩すなど生徒への負担が非常に大きいことや、宿泊施設の確保が年々難しくなっていたことを勘案し、平成28年度から取りやめており、再開する考えはない。



被爆から79年目の原爆ドーム

戦争体験者の証言映像について、市民への貸し出しなどは行っているのか。

企画財政部長 戦争を体験された市民の証言映像は、平成29年度から令和4年度まで、市内小

中学校で平和学習として実施していた平和を願う講演会で、戦争体験者である語り部から直接聞いた戦争の記憶を次世代に継承していくために映像化したものであり、現在は、平和学習の教材として小中学校で活用しているが、今後は一般の方への貸出しなども検討していく。

P F O S（ピーフォス）とP F O A（ピーフォア）それぞれの調査結果の数値は。

環境経済部長（調査結果はP F O S・P F O A・合算値の順、単位はナノグラム）令和6年7月に10ヵ所で実施した調査結果では、久保川が上流域で190・12・200、中流域で85・7・92、柳橋上流域で180・15・200、下流域で120・13・130。三ツ木掘が上流域で62・9・71、中流域で49・7.5・56、柳橋上流域で57・8.3・65。入間川が豊水橋下流域で2.1・2.3・4.4、新富士見橋下流域で5.3・2.8・8.1。不老川が入曽橋下流域で13・6・19。

行政執行において法令解釈誤りや単純ミスは許されない

田中 寿夫（光と風）



録画配信の
2次元コード

職員の事故、消防団の寄附受領、市議会での議決をせず契約した指導用教材の購入、西口自転車駐車場の指定管理者の破産に伴う損失、堀兼学校給食センター委託料の年度誤りの支出など様々な問題が発生している。市長は狭山市の行政執行最高責任者としての道義的責任が問われると思うが考えは。

市長 各事案が発生して以降、問題点や原因に向き合い、組織として反省すべきものは反省し、再発防止などに対策を講じてきた。また、市は事務的なミスが発生しないよう努めなくてはならないが、人間が業務を行っているので単純ミスや法令などの解釈の間違いが発生することは避けられない。ご指摘の事案では意図的な法令違反や不当な利得などの犯罪は確認されず、処分な

どは法令等に照らし対応を行っている。

職員の負担が大きくなっているなか、それぞれの職員が持てる能力を最大限発揮し、適正かつ迅速に事務を行うことができ体制をつくっていくことが私に課せられた責任であり、責任を果たすために全力で頑張っていきたい。



法令に違反した
事務は無効

地方自治体は二元代表制が取られており、執行機関と議会是对等であり、国会とは異なり市議会には与党や野党といった色分けがないにも関わらず、与党会派、野党会派という言葉を直接聞いたことがあるのだが。

総務部長 ご指摘のような色分けをしている認識はなく発言した心当たりもないが、仮にこれまで発言したというご指摘であれば、今後は疑念を抱かれぬよう改めたい。